

(参考様式 1 - 5)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和 6 年 8 月 2 3 日

ふりがな	はすみちくかっせいかけいかく
活性化計画名	羽須美地区活性化計画
ふりがな	しまねけん おおなんちょう
計画主体名	島根県（代表） 邑南町
計画期間	平成 2 9 年～令和 3 年
事業実施期間	平成 2 9 年～令和 2 年
活性化計画区域	羽須美地区（島根県邑南町）

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
交流人口の増加	400 人	441 人	110.25%	
雇用者数の増加	1 人	1 人	100%	
棚田オーナー参加者数	7 組	9 組	128.57%	

(コメント)

交流人口の増加については、キャンプ場の遊歩道を整備したことにより、車両の乗り入れが可能となり、資機材の搬入が容易となったことで、各種イベントの開催地となり目標を達成することができた。また、キャンプ場の運営が再開したことで、運営業務の雇用が生まれたことにより、雇用者数の増加の目標を達成することができた。

棚田オーナー参加者数については、用水路等を整備したことにより棚田の機能が維持され、交流型農業が継続されたことにより目標を達成することができた。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	農地等補完保全整備（小規模農林地等保全整備）	
事業内容及び事業量	土地改良施設の整備（用水路工 L=59m、湧水処理 L=126m）	
事業実施主体	島根県	
管理主体	邑南町	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
	平成 30 年度	平成 31 年度
事業の効果	用水路等を整備したことにより、棚田の機能が確保された。 これにより交流型農業が継続され、棚田オーナー参加者数の増加が図られた。	

事業メニュー名	自然環境等活用交流学習施設（自然環境保全・活用交流施設）	
事業内容及び事業量	遊歩道整備（遊歩道改修 L=75m、遊歩道新設 L=65m）	
事業実施主体	島根県	
管理主体	邑南町	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
	令和 2 年度	令和 3 年度
事業の効果	交流施設へのアクセス道である遊歩道が整備されたことにより、交流人口の増加と雇用の確保が図られた。	

(3) 総合評価及び今後の方針

<p>(コメント)</p> <p>本事業により棚田の保全及び遊歩道の整備を実施したことで、各目標を達成することができた。</p> <p>今後も継続してオーナー募集を新聞広告へ掲載し、さらなる棚田オーナー参加者数の増加を通じて、都市住民と農村地域の人々との交流を楽しむ農泊を推進していく。</p>

(4) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 邑南町農業委員会会長	(氏名) 三上 孝行
(コメント) 各事業で設定した目標を達成できたことは評価できる。 今後は整備した施設を活用し、都市住民との交流を通して地域が活性化していくことを期待する。		

2 活性化計画の目標の評価等

(1) 活性化計画の目標の達成状況

活性化計画の 目標及び達成度	目標	棚田オーナー参加者数		
		目標値 A	実績値 B	達成率 $C = B / A$
		7組	9組	128.57%

活性化計画の 目標及び達成度	目標	交流人口の増加		
		目標値 A	実績値 B	達成率 $C = B / A$
		400名	441名	110.25%

(2) 今後の方針

(コメント) 評価期間の目標は達成することができたが、今後も棚田オーナーの募集や棚田環境を維持する取り組みを継続し、都市住民との交流の拡大を図っていく。

(3) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 邑南町農業委員会会長	(氏名) 三上 孝行
(コメント) 今後も継続的な取り組みを行っていただき、農村資源を活用した交流人口の増加を期待している。		

【記入要領】

- (1) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要領別記3第11の3(1)及び(3)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (2) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は、事業メニューごとに作成すること。また、「事業の効果」には目標の達成に直接関係する効果だけでなく、事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果（取組への参加や地域内で行われた話合の回数などの地域の変化を表す数値等を含む。))を幅広く記入すること。